
「進行・再発子宮体癌に対するレンバチニブ・ペムブロリズマブ併用療法の

有用性・忍容性に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2010年01月01日～2023年8月31日までに当院でレンバチニブ(レンビマ®)・ペムブロリズマブ(キートルーダー®)併用療法を受けた子宮体癌患者の方

2. 研究の目的

治療を受けられた皆様の病期、薬剤を用いた期間などを調べ、どのような副作用があったのかなどについて検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年9月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年11月2日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテに記載された情報を調べ、研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である厚川 紗愛が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院でレンバチニブ(レンピマ®)・ペムブロリズマブ(キートルーダー®)併用療法を受けた子宮体癌患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 厚川紗愛(研究責任者)

産婦人科 重松幸佑

産婦人科 木崎雄一郎

産婦人科 魚谷隆弘

産婦人科 長井智則

産婦人科 高井泰

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 厚川紗愛

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：048-228-3681(土日祝日を除く 9:00~16:00)

メールアドレス：skashiwa@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：進行・再発子宮体癌に対するレンバチニブ・ペムブロリズマブ併用療法の有用性・忍容性に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 厚川紗愛